書籍仕入れご担当者　様【ジャンル／　日本近現代史 】
平素より、ご高配を賜り深く御礼申し上げます。
ぜひ、関連コーナーにてご展開いただきますようご案内申し上げます。

FAX: 092-726-9886

金子堅太郎

伊藤博文の懐刀（ふところがたな）

2026年 1月 下旬刊

浦辺 登

定価 2300円（税別）
四六判・368頁
ISBN 978-4-86329-321-2
C0021

金子堅太郎
（『近代日本人の肖像』から）

外交はその国に友達がいなければ成立しない（金子堅太郎）

なぜ金子（1853～1942）は、日露戦争時に米国大統領ルーズベルトと直接会見し、日本への支援を得ることができたのか。

幕末から昭和戦前まで、金子は政治家、歴史家、法律家など多様な顔をもって重要な政策を着実に実現へと導いた。
その金子の若き日の修業時代とはどのようなものだったのか。彼の「自叙伝」を克明に読み解き、従来知られていなかった金子の前半生も描いた労作！

【目次から】

第一章　金子家再興の期待を背負う
第二章　アメリカ留学
第三章　ハーバード大学時代
第四章　猪突猛進、大車輪の時代
第五章　伊藤博文の側近として
第六章　帝国憲法草案
第七章　八幡製鉄所
第八章　政府の閣僚、貴族院議員、枢密顧問官時代
第九章　日露戦争と金子堅太郎
第十章　日米の架け橋として
第十一章　学術、芸術、芸能、郷土の発展に寄与
第十二章　金子と金子家の日常
［資料］金子堅太郎の日系移民排斥問題寄稿文について

《著者の横顔》

浦辺　登（うらべ・のぼる）
昭和31年（1956）、福岡県筑紫野市生まれ。現在日本の近代史を中心に研究。著書に『霊園から見た近代日本』『アジア独立と東京五輪―「ガネホ」とアジア主義』『玄洋社とは何者か』『明治四年・久留米藩難事件』（以上、弦書房）、共著に『権藤成卿の君民共治論』（展転社）。
公式ホームページ ttps://www.urabe-noboru.com

【FAX: 092-726-9886】

地方小出版流通センター 取扱品

書店・帖合

ご担当者様　様

冊	金子堅太郎　伊藤博文の懐刀（ふところがたな）	浦辺 登 定価 2300円＋税 ISBN 978-4-86329-321-2
冊	新装版 江戸という幻景	渡辺京二 定価 1800 円＋税 ISBN 9978-4-86329-264-2
冊	玄洋社とは何者か	浦辺登 定価 2000 円＋税 ISBN 978-4-86329-154-6
冊	新装版 霊園から見た近代日本	浦辺登 定価 1900 円＋税 ISBN 978-4-86329-288-8

ご注文日［　／　］

弦書房 —Genshobo—
〒810-0041　福岡市中央区大名2-2-43　ELK大名ビル301
TEL:092-726-9885　FAX:092-726-9886
URL http://genshobo.com/　e-mail　books@genshobo.com